

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	スポーツ（実技）	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名			開設期	前期
対象年次	2 年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	適宜レジュメ・資料を配布する。使用教材等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	伊藤茂彦			実務経験の有無・職種		無	
学習目的							
生涯にわたって運動やスポーツを自ら実践することができる能力を身につけることを目的とする。各種目に関する講義も適宜行い、健康と安全に留意しながら個人的、集团的スポーツを楽しむことができる作戦の立て方や審判の仕方、競技運営方法を学ぶ。各種のスポーツを仲間とともに技能面の上達を図り楽しむことができ、自己の体力・健康の保持・増進を図ることができる。また、ニュースポーツも体験・理解する。							
到達目標							
バレーボール・バドミントン・バスケットボールなどを仲間とともに楽しみ、技術的に上達し、ルールを理解し審判ができるようになるとともに試合運営ができるようになる。またニュースポーツを体験することによって、生涯スポーツの理解を深め健康の保持・増進に努めることができるようになる。							
教育方法等							
授業概要	各種スポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図りスポーツの楽しさを味わう。仲間と身体活動を行なう中で、自己の体力・健康の保持・増進を図る。将来、指導者としての指導法や競技運営についても学ぶ。						
注意点	学生間のコミュニケーションのみならず、教員との接点を深めることによって、社会進出時の幅広い年齢層へのコミュニケーションスキルも高めることを期待する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 （口頭・実技）	0%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	ガイダンス			授業を受けるにあたっての注意点、運動へのリスクマネジメント等を理解する			
2 回	体づくり運動、レクリエーションスポーツ①			簡単な体力づくりの運動を理解し、またニュースポーツを体験する			
3 回	レクリエーションスポーツ②			ニュースポーツを体験し、試合運営・審判等ができるようになる			
4 回	バレーボール①基本練習			基本練習をおこなうことによって技術の向上を目指す			
5 回	バレーボール②応用練習			応用練習をおこなうことによってゲームがおこなえるまでの技術取得を目指す			
6 回	バレーボール③ゲーム・審判			ゲームをおこなうことによってチームワークを学び、試合運営・審判等ができるようになる			
7 回	バドミントン①基本練習			基本練習をおこなうことによって技術の向上を目指す			
8 回	バドミントン②シングルゲーム・審判			ゲームをおこなうことによってチームワークを学び、試合運営・審判等ができるようになる			
9 回	バドミントン③ダブルスゲーム・審判			ゲームをおこなうことによってチームワークを学び、試合運営・審判等ができるようになる			
1 0 回	バスケットボール①基本・応用練習			基本・応用練習をおこなうことによって技術の向上を目指す			
1 1 回	バスケットボール②ゲーム・審判			ゲームをおこなうことによってチームワークを学び、試合運営・審判等ができるようになる			
1 2 回	テニス①基本練習			基本練習をおこなうことによって技術の向上を目指す			
1 3 回	テニス②シングルゲーム・審判			ゲームをおこなうことによってチームワークを学び、試合運営・審判等ができるようになる			
1 4 回	テニス③ダブルスゲーム・審判			ゲームをおこなうことによってチームワークを学び、試合運営・審判等ができるようになる			
1 5 回	ウォーキングとその効果について			健康運動の基本である、ウォーキングを体験することにより、より健康の保持・増進の理解を深める			